

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月24日更新

事務事業名		図書館情報誌発行事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局	課長名	岐部 則夫
	施策	21	生涯学習の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	衛藤 京子
	施策の柱	66	学習の啓発				所属班	図書館班	(内線)	1540
予算科目		会計一般	款10	項5	目8	事業連番11046	根拠法令			
終了、開始年度		☒ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市の広報へ2ページ分の記事掲載、および合志市市立図書館としての広報紙を毎月発行する。市立図書館ホームページの内容更新。また、「子ども新聞」や「ヤングアダルト新聞」の年2回の発行も行う。多くの住民に周知するため平成7年の開館年より開始。合併後、合志市立図書館として、それぞれの広報紙等をまとめたものを作製している。デザイン等格段にきれいになっている。合志市立図書館として全体の記事が掲載されるため、情報量としては多くなった。平成28年度より図書館蔵書貸出・返却事業へ統合する。
【業務の流れ】	新着圖書の紹介、各種行事、おすすめの本などの原稿を毎月作製する。図書館広報紙は印刷し、図書館取り置き用、各種学校・施設配布分に分け、送付する。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費) 平成28年度より図書館蔵書貸出・返却事業へ統合する。
【意見や要望】	市の広報紙については市民からのアンケートに毎月楽しみにしている等の意見がしばしば寄せられている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
図書館だよりを毎月発行している。「子ども新聞」「YA新聞」の発行(各年2回)及びその他テーマごとの図書リスト等の作製配布している。また、広報「こうし」の図書館コーナーにも記事を掲載している。		図書館蔵書貸出・返却事業へ統合
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 図書館広報誌の発行部数	枚	図書館蔵書貸出・返却事業へ統合による減額
イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市民および図書館利用者		→ ア: 世帯数
		イ: 利用者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
多くの市民や図書館利用者に図書館の行事や資料の内容を伝え、利用の促進につなげる。		→ ア:
		イ:
* ③ 成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
図書館カウンターに配置している「図書館だより」等の残数より、多くの市民に周知されたと判断した。多くの市民に周知したいため、設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア イ	枚	5,040	5,040	5,040	4,460	0	0	0	0	
② 対象指標	ア イ	世帯 人	21,938 113,863	22,392 111,040	21,000 150,000	22,948 113,344	0 0	0 0	0 0	0 0	
	イ										
③ 成果指標	ア イ	枚	4,300	4,300	4,300	4,220	0	0	0	0	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	16	14	15	15				
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	16	14	15	15	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	6	6	5	6	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	435	310	500	622	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	1,733	1,235	1,992	2,309	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,749	1,249	2,007	2,324	0	0	0	0	

事務事業名	図書館情報誌発行业務	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 利用者の多い月や、大きなイベントのある月は多くの持ち帰りがあったが、月途中のイベントの周知の時は残りが多かった。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 積極的に利用者に配布したりすることで、周知に努める。 （予算は図書館蔵書貸出・返却事業へ統合）
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 内容、レイアウトともに更に充実するよう工夫していく余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成28年度より図書館蔵書貸出・返却事業へ統合する。 統合することにより事務を簡素化できる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 広報紙の発行枚数は現在妥当であると思われるため、削減は難しい。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現在パソコンに詳しい職員が手際よく作業をしているため、業務時間的には短くなっている。非常勤職員にも手伝ってもらいながら紙面づくりはしているが、これ以上の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公平である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 図書館で行う行事等の周知であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

イベント等には多くの利用者の参加があり、一定の成果があったと考える。今後もより多くの利用者へ周知できるよう工夫したい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							